

## 令和7年度 第6回府中市環境保全活動センター検討調整会 議事録

■日 時：令和7年9月16日（火）午後2時～3時30分

■場 所：市役所おもや3階会議室A302

■出 席：（敬称略）

（委 員）（6名）石川 伊智郎、浅田 多津子、藤間 利明、室 英治、  
杉村 康之、西尾 克人

（事務局）（2名）田口 敦、熊谷 一茂

■欠 席：（敬称略）

（委 員）（2名）塚原 仁、竹嶋 仁

（事務局）（2名）柳下 豊宏、青木 大地

■議 事

### 1. 報告

① 令和7年度 第5回検討調整会議事録・・・

（事務局：熊谷）議事録内容について説明。修正等なし。

② 活動センター事業について・・・

・（事務局：熊谷）8月21日に夏休み親子かんきょう塾を実施した。観光地化されていない夏狩湧水群の散策と、リニアモーターカーの実際の試験走行も見学することができ、全体的に参加者の満足度の高い内容となった。夕方ごろに雷雨に見舞われるも、ちょうどバス車内であったことなどもあり、予定時間通りに完了した。

令和7年度第4回かんきょう塾は8月30日に実施。かんきょう市民の会とかんきょう塾ネットとのコラボ開催として、講師に東京農工大学の高田教授を迎え、合成洗剤やプラスチックなどの化学物質による環境汚染についての講義が行われた。詳細についてはセンターHPにて報告を行っている。なお、かんきょう塾では、現在6グループに分かれて活動が進められており、それぞれが府中市の環境基本計画に沿ったテーマを設定し、活動を進行中である。

センター事業予定にある通り、次回の検討調整会までの間に多くのイベントを予定している。

- ・9月20日の「ふちゅう環境教室（明星学苑・ごみダイエットNOKO）」
- ・9月21日のかんきょう市民の会主催「自然・環境体験学習（昆虫）」
- ・10月5日の環境まつり→センターとしてパネル展示を実施  
パネル内容について、R6年度に作成したデザインを基本とし、写真をR7年度verに変更して利用する旨を事務局から提案→委員了承
- ・10月13日の森キッズについて、開催日程の確定を報告。

かんきょう塾ネットからは昨年通り葉っぱプリント、センターからは缶バッヂ作成ブースを展開予定であることを確認。

第6回かんきょう塾の実施に当たり、9月18日に講師の山本氏と事務局とで、大國魂神社および高安寺へ域内にて名木に関するツアーを行うことの挨拶に行く。

### ③ その他・・・

(事務局：熊谷) 広報について、西尾委員からご提案をいただいた「スマート連絡帳」について、教育委員会にも確認し、活用ができるることを確認した。「森キッズ」の広報から運用を実施する。

(藤間委員) 広報の関係で環境まつりのことが東京都市町村自治調査会発行の「ぐるり39～自治調査会だより～」に掲載がされている。

(浅田・藤間委員) ルミエールにて図書館講演会「府中の土壤について～台地の土壤と低地の土壤～」があり、有意義な内容であったとの報告を受ける。

## 2. 議事

### ① 活動センターの運営方法について・・・

事務局：熊谷より、配布資料「有識者ヒアリング要約 vol.2」に沿って、有識者ヒアリングの内容及び全体の課題、今後の事務局の動きについて説明および報告を行った。それを踏まえ、委員・事務局より以下のとおり意見がなされた。

- ・(室委員) このヒアリングの報告は有意義なもの、関係者で集まり市民営化について話を深めていった方がよいのでは。
- ・(事務局) 有識者ヒアリングにて意見をいただいた内容で進めていくと決意したものではない。もちろん朝岡教授・林館長の話された内容は理想的で、素晴らしいセンターとなるというイメージはあるが、今は事務局において他の案や意見が無いかの情報収集を行っているところ。最終的には検討調整会にて方向性を固めていくことをイメージしている。今は各個の意見を深めるよりも広げていくことを目的としたい。
- ・(藤間委員) 資料内の全体の課題で「予算をとる理由が弱いこと」と記載があるが0から作るよりも、既存で存在する方が費用としては安くなるというものではないのか。
- ・(事務局) 現時点での組織運営ができていることに対し、その発展のためにという理由で予算をつける場合には、具体的にどのような組織をつくり、市及び市民にどのようなメリットがあるのかという理由をしっかりと構築しなければならない。確かに、組織構築費用としては0からよりも既存の

組織を利用する方が費用的に抑えられるが、予算を計上する場合においては、今現在活動できているものを発展させるための費用計上は、実績が必要となってくる。

有識者ヒアリングの際に例として出た「グラウンドワーク三島」は源兵衛川の保全、環境改善というわかりやすく大きなお題目があった。新センターは何を目的にどのような活動をしていくのか、その内容について思案することが必要と思われる。その解決策として「ワークショップ」を開催し、多くの人からの意見を集約し、整えていくことでおぼろげな輪郭を鮮明にしていくことが有識者ヒアリングの中で挙げられていた。

- ・(石川委員) 議論が迷走しないように、委託化・市民営化というような今回の動きを検討している目的や流れを明記したほうがよい。
- ・(事務局) ご指摘の通り、議論を深めていくと軸がぶれてしまうため基本となる部分について、明文化・視覚化するべきであるかと思う。皆様の議論が円滑に進められるよう、そのような資料を作成・提供していく。
- ・(事務局) 今後の事務局の動きについて、協働の主管課である協働協創推進課に、センターの今後の進め方についての相談を予定している。費用面でのフォローや、事業実現の方策について 10 月 3 日に打ち合わせを行う予定である。

## ② その他

第5回かんきょう塾「町田市2施設へのバス見学」について、報告日現在での申し込み人数について報告。サポーター含め LoGo フォームに入力することを改めて求めた→各グループの班長に事務局から連絡し自グループに展開するように依頼してはどうか→事務局より、各グループの班長ないしは連絡係宛にメールを送信することとした。

## 4. その他・・・

次回は、令和7年10月21日（火）午後2時～@おもや3階会議室A302での開催に決定。